

AUC T_EX について (ダイジェスト版)

電子工学科 桑田正行

1994年 5月 17日

1 はじめに

L^AT_EX(T_EX) で文書を作成する場合, せっかく Mule (GNU Emacs 系のエディタ) を使用しているのですから, L^AT_EX(T_EX) のファイルを Mule 上で L^AT_EX(T_EX) 用のモードを利用した環境でコンパイルすると便利です.

総合情報処理センターの教育系のマシンのデフォルトの設定では, L^AT_EX(T_EX) ファイルを編集するのに Emacs Lisp パッケージ AUC T_EX を使用するように設定してあります.

ホームディレクトリの .emacs で tex-mode-tool の値が

```
(setq tex-mode-tool "auctex")
```

のように設定されています (以下の説明はこの設定で利用できる機能です).

この AUC T_EX は, 多機能なわりにはコマンドの割り当てキーが少ない, ミニバッファからの補完機能を利用した入力を多用した対話型のインタフェースになっています.

L^AT_EX(T_EX) ファイル (ファイルの拡張子が .tex) をコマンド C-x C-f (find-file) などで読み込むと, バッファのモードが自動的に AUC T_EX パッケージを使用するように設定されます.

以下, AUC TeX のコマンドをいくつか紹介します. 使用してみれば便利さを体感できます.

2 L^AT_EX(T_EX) ファイルの編集に便利なコマンド

補完機能が利用でき, 入力が軽減できます. また, 必要な引数やオプションなども聞いてきます.

2.1 L^AT_EX の文書スタイルや環境の入力

コマンド C-c C-e を用います (環境 Environment の “e” です).

2.2 セクションコマンドの入力

コマンド C-c C-s を用います (節 Section の “s” です).

2.3 L^AT_EX(T_EX) のマクロの入力

コマンド C-c C-m を用います (マクロ Macro の “m” です).

3 コンパイル・プレビュー・プリントアウト

コマンド `C-c C-c` で

1. コンパイル (jLaTeX, jTeX など)
2. プレビュー (View)
3. プリントアウト (Print)

などができます (ここでも補完機能が利用できます).

コンパイルが正常に行なわれると、コンパイル後に `C-c C-c` を入力すると、デフォルトでプレビューアを呼び出します.

[補足] 次のような機能を追加してあります.

- 「`C-c C-c File`」で `dvi2ps` コマンドを用いて、ポストスクリプト形式のファイルを出力します.
- 「`C-c C-c View2`」で `ghostview` コマンドを用いて、ポストスクリプト形式のファイルを表示します.

4 エラーが生じた場合

コンパイル時にエラーが生じた場合、メッセージに表示されるように、`C-c ‘` (バッククォートです) でファイルのエラーの箇所にカーソルが移動し、 $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}(\text{T}_{\text{E}}\text{X})$ の出力したエラーメッセージが別のバッファに表示されます.

エラーが複数ある場合は、`C-c ‘` で次のエラー箇所に移動します.

複数のファイルに分割してマスタファイルでそれらを `\input{ファイル名}` あるいは `\include{ファイル名}` で読み込むようにしてある場合でも、エラーが生じた場合は、個々のファイルの該当箇所を表示してくれます.

指定したスタイルファイルでエラーが生じた場合もエラー箇所を表示します.

5 もっと詳しい解説

AUC $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ に関しては、「UNIX MAGAZINE」の1993年9月号から12月号に4回に渡って連載されています.

Info 形式のオンラインマニュアル (英語) もあります (「`C-h i m AUC-TEX RET`」で参照できます).

6 バージョンについて

総合情報処理センターの教育系のマシンで利用できる AUC $\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ のバージョンは `auctex-9.9` です.

最近のバージョンでは、コマンド `C-h C-1` を入力すると、カーソルの近傍や指定した $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}(\text{T}_{\text{E}}\text{X})$ マクロのヘルプメッセージを表示できます.